

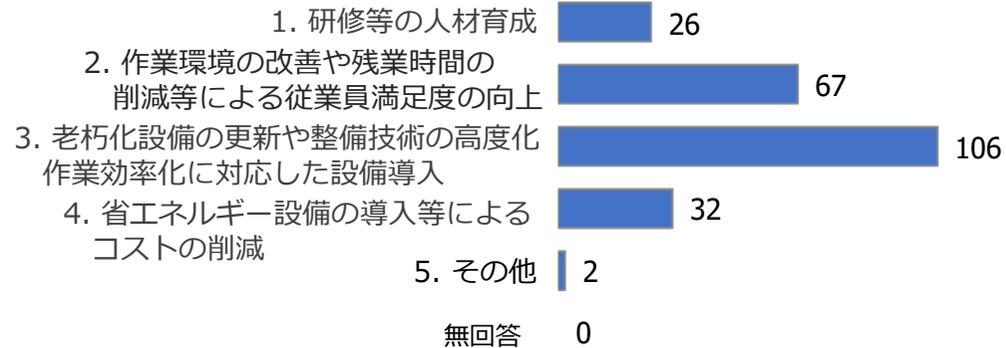
# 自動車整備業の生産性向上等に関する調査

## ● 令和2年度 調査内容

- ✓ 中小企業等経営強化法に基づく「経営力向上計画」の認定を受けた自動車整備事業者(以下「認定事業者」)に対し、設備の導入効果等に関するアンケート調査を実施 (R1.8.1~R2.7.31の間に認定を受けた305社を対象)
- ✓ アンケート回答事業者から好事例を抽出し、深掘りのためのヒアリング調査を実施 (17社を対象)

## 1. 主なアンケート調査結果

### ① 経営力向上計画の認定を受けて実施した取組(N=136 複数回答可)



その他の回答では、「協同組合の株式会社への組織変更」や「CS工場」等が挙げられた。

### ③ これまでに活用した国による支援策(N=84 複数回答可)



これまでの国による支援策の活用有無については、62%の事業者から国による支援策を活用したことが「ある」と回答があった。

### ② 今回、認定を受けて利用した(利用する予定の)支援措置(N=136 複数回答可)



経営力向上計画の認定は、ものづくり補助金等各種補助金の加点項目※になっており、税制上様々な優遇を受けられる制度であるため、事業者において積極的な制度活用が伺える。※2020年度は加点対象外

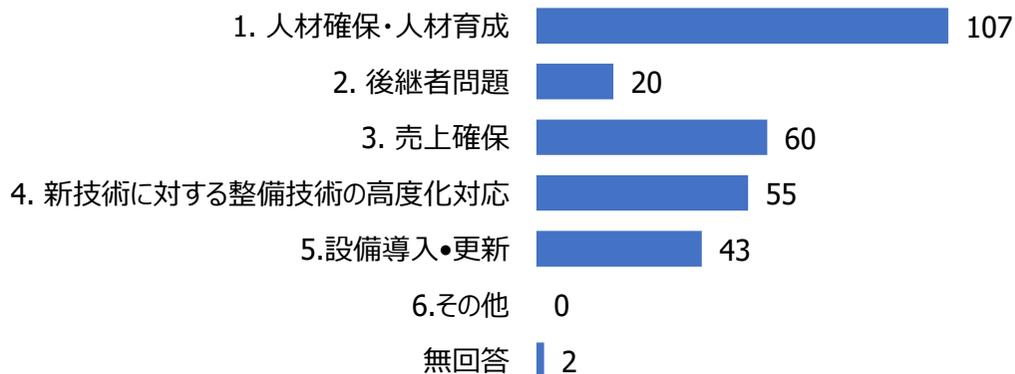
### ④ 経営力向上計画の実施による効果(N=136 複数回答可)



「生産性の向上」や「作業時間の短縮」など設備の導入効果を実感している事業者が多数いることが確認された。

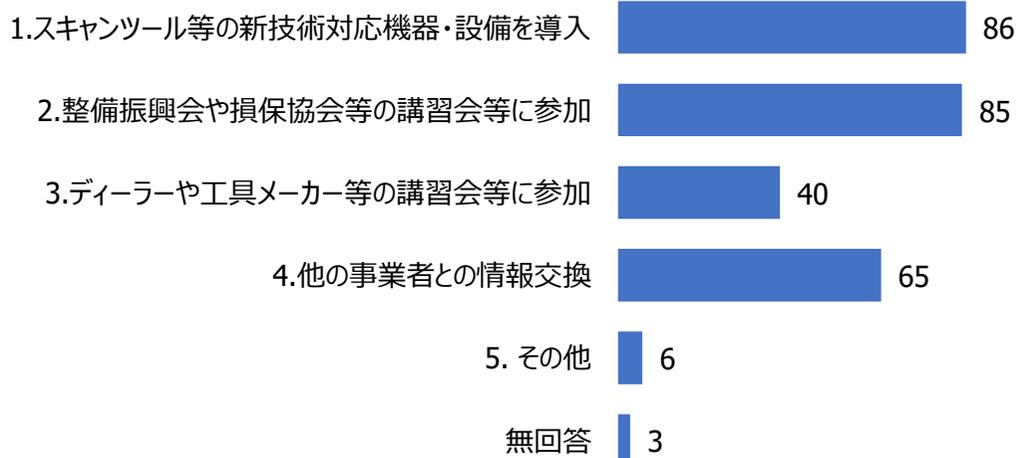
## 【アンケート結果】

### ⑤ 現在の経営課題(N=136 複数回答可)



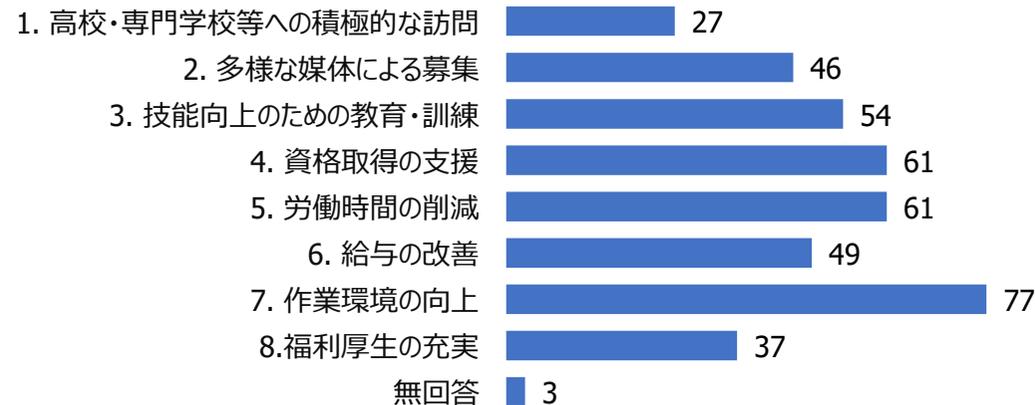
自動車整備士を目指す若者が激減しており、日整連の調査でも既に事業運営に支障がでていることが確認されており、整備業界の喫緊の課題となっている。

### ⑥ 新技術に対する整備技術の高度化に関する取組(N=136 複数回答可)



6割以上の事業者において高度化に関する取組が実施されており、新技術への対応について、意識の高さが確認された。

### ⑦ 人材確保・育成や労働環境等に関する取組(N=136 複数回答可)



取組みを実施しているとする回答は半数程度であった。

# 自動車整備業の生産性向上等に関する調査

## 2. ヒアリング調査結果

株式会社 TWO TOP / 指定工場

香川県三豊市 従業員数10名(うち整備要員5名)

◆認定年月

令和元年12月

◆導入設備

複合試験機、ヘッドライトテスター  
オパシメーター、マルチリフト

◆利用した支援措置

法人税の即時償却

◆効果

- 指定取得に伴う複合試験機等の導入により、**外注費を削減**することができ、**車両を外注先等に持ち込む時間も削減**することができた。
- マルチリフトの導入により**作業効率が1.2~1.3倍向上した**。
- 作業効率が向上した結果、作業時間短縮が図られコスト削減につながった。



協業組合 みのわ車検センター / 指定工場

長野県上伊那郡箕輪町 従業員数6名(うち整備要員5名)

◆認定年月

令和元年11月

◆導入設備

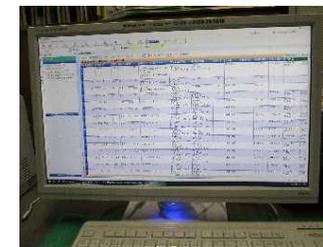
OS対応ソフトウェア

◆利用した支援措置

法人税額の控除

◆効果

- 重量税印紙の購入のための外出時間及び貼付時間が削減された。
- 保安基準適合証への記入ミスが減少した。
- 事務処理の作業効率が向上**し、社員の作業負担が軽減された。



有限会社 伸自動車 / 指定工場

福岡県福岡市 従業員数23名(うち整備要員14名)

◆認定年月

令和元年10月

◆導入設備

三次元車両測定装置  
ホイールアライメントテスター

◆利用した支援措置

法人税額の控除

◆効果

- 三次元車両計測装置の導入により、フレーム修正の**作業時間を約半日短縮**することができた。
- ホイールアライメントテスターの導入により、従来外注していた**調整作業を内製化することができ**、車両の持ち込みに要した**時間とコストを削減**することができた。



有限会社 松原自動車整備工場 / 指定工場

栃木県宇都宮市 従業員数5名(うち整備要員4名)

◆認定年月

令和2年4月

◆導入設備

塗装ブース

◆利用した支援措置

法人税の即時償却

◆効果

- 新型の塗装ブースの導入により、一年通して同じ環境で塗装できるようになり、**品質が向上**した。
- 作業効率が向上**し、作業時間短縮が図られ**コスト削減**につながった。

